



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,277	△11.6	15,901	△11.2	16,314	△10.4	10,945	△10.5
2020年3月期第2四半期	38,792	△0.1	17,907	△1.2	18,216	△1.1	12,232	△0.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 11,119百万円 (△9.8%) 2020年3月期第2四半期 12,331百万円 (△0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	43.89	43.81
2020年3月期第2四半期	48.75	48.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	221,198	186,830	83.6
2020年3月期	219,133	183,980	83.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 184,823百万円 2020年3月期 181,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.60	—	29.80	55.40
2021年3月期	—	27.75	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	27.75	55.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,200	△8.9	32,600	△9.5	33,300	△9.3	22,100	7.1	88.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	313,250,000株	2020年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	64,023,259株	2020年3月期	63,717,259株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	249,346,812株	2020年3月期2Q	250,913,595株

(注) 2021年3月期2Qの期末自己株式数には432,700株、US S従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2020年11月11日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、前年の消費税増税にともなう駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、新車登録台数(軽自動車含む)は2,028千台(前年同期比22.6%減)、中古車登録台数(軽自動車含む)は3,263千台(前年同期比3.8%減)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出市場は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、輸出台数は457千台(前年同期比29.6%減)となりました。(財務省貿易統計調べ)

しかしながら、緊急事態宣言の発出された期間が含まれる第1四半期連結会計期間(2020年4月～6月)と、緊急事態宣言解除以降の当第2四半期連結会計期間(2020年7月～9月)を比較しますと、新車登録台数(軽自動車含む)は、836千台(前年同期比31.8%減)から1,192千台(前年同期比14.6%減)、中古車登録台数(軽自動車含む)は1,557千台(前年同期比6.9%減)から1,705千台(前年同期比0.8%減)と回復に向かっております。

オートオークション市場における出品台数は3,382千台(前年同期比11.0%減)、成約台数は2,139千台(前年同期比12.0%減)、成約率は63.3%(前年同期実績64.0%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、USSグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高34,277百万円(前年同期比11.6%減)、営業利益15,901百万円(前年同期比11.2%減)、経常利益16,314百万円(前年同期比10.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10,945百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,237千台(前年同期比15.3%減)、成約台数は765千台(前年同期比14.7%減)、成約率は61.9%(前年同期実績61.4%)となりました。

オートオークションにおける売上高は、緊急事態宣言解除以降の取扱台数が回復基調にあるものの、前年同期を下回ったことから減少しました。

営業費用については、R-名古屋会場の立体駐車場建設などにより減価償却費や租税公課が増加したものの、人件費や消耗品費の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高28,246百万円(前年同期比11.1%減)、営業利益15,698百万円(前年同期比10.4%減)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、緊急事態宣言解除以降のオークション相場が高水準で推移したことにより、台当たり粗利益が増加したものの、緊急事態宣言解除前の相場の低調や販売台数の減少などにより減収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、販売台数が減少したものの、緊急事態宣言解除以降のオークション相場が高水準で推移したことにより、台当たり粗利益が増加し減収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高3,571百万円(前年同期比17.2%減)、営業利益98百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

その他

リサイクル事業は、4月以降の鉄スクラップ相場は緩やかな回復基調にあるものの、取扱量が減少したことから減収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、中古車輸出台数の大幅な減少により、受注台数が減少したことから営業損失となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,459百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益54百万円(前年同期比76.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は221,198百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,064百万円増加しました。これは主に、有価証券が3,000百万円、のれんが881百万円、受取手形及び売掛金が744百万円減少した一方、現金及び預金が4,051百万円、借地権など無形固定資産のその他が2,458百万円増加したことによるものです。

負債合計は34,368百万円となり、前連結会計年度末と比較して784百万円減少しました。これは主に、オークション借勘定が2,513百万円、長期借入金771百万円増加した一方、未払金など流動負債のその他が4,048百万円減少したことによるものです。

純資産合計は186,830百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,849百万円増加しました。これは主に、自己株式の取得により723百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益10,945百万円に対し、配当金を7,436百万円支払ったことにより利益剰余金が3,508百万円増加したことによるものです。

#### <キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,051百万円増加し、51,880百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16,644百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益16,291百万円（前年同期比10.5%減）、法人税等の支払額4,531百万円（前年同期比36.0%減）、減価償却費及びその他の償却費2,592百万円（前年同期比6.6%増）、オークション勘定の増減額1,944百万円（前年同期比25.3%増）によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は8,067百万円となりました。これは主に、R-名古屋会場の立体駐車場建設などにとまう有形固定資産の取得による支出4,964百万円（前年同期比103.3%増）、H A A神戸会場の借地権取得などにとまう無形固定資産の取得による支出3,094百万円（前年同期実績259百万円）によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は7,525百万円となりました。これは主に、配当金の支払額7,436百万円（前年同期比13.8%増）、長期借入れによる収入980百万円（前年同期実績一百万円）、自己株式の取得による支出978百万円（前年同期比87.2%減）によるものです。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだオークション取引台数が想定より早く回復していることから、2020年8月3日に公表しました2021年3月期の連結業績予想を修正しております。

前回発表予想から、オークション取引台数の増加により売上高が3,900百万円増加し、販売促進費、人件費および減価償却費の減少に加え、低額車コーナーの買取保証により買い取った車両の売却損の減少などから営業費用の削減が見込まれ、営業利益は5,400百万円増加する見通しです。

#### <連結業績予想>

通期（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%) (B-A)/A	前期実績 (C)
出品台数 (台)	2,340,000	2,530,000	190,000	8.1	2,924,052
成約台数 (台)	1,420,000	1,600,000	180,000	12.7	1,772,443
成約率	60.7%	63.2%	2.5P	—	60.6%
売上高	67,300	71,200	3,900	5.8	78,143
営業利益	27,200	32,600	5,400	19.9	36,009
経常利益	27,800	33,300	5,500	19.8	36,710
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,400	22,100	3,700	20.1	20,634
1株当たり 当期純利益	73.81	88.65	—	—	82.44

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,729	54,780
オークション貸勘定	5,603	6,172
受取手形及び売掛金	2,894	2,150
有価証券	6,000	3,000
たな卸資産	1,052	823
その他	1,855	1,681
貸倒引当金	△38	△32
流動資産合計	68,096	68,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,573	36,736
土地	65,031	65,031
建設仮勘定	1,673	1,574
その他(純額)	3,469	3,315
有形固定資産合計	106,747	106,657
無形固定資産		
のれん	29,449	28,568
その他	6,671	9,129
無形固定資産合計	36,120	37,698
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,325	8,419
貸倒引当金	△157	△152
投資その他の資産合計	8,168	8,266
固定資産合計	151,037	152,622
資産合計	219,133	221,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	8,721	11,234
支払手形及び買掛金	376	353
短期借入金	300	429
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	5,623	5,591
引当金	713	666
その他	8,542	4,494
流動負債合計	24,497	22,988
固定負債		
長期借入金	2,420	3,191
退職給付に係る負債	834	878
資産除去債務	609	613
その他	6,792	6,696
固定負債合計	10,656	11,379
負債合計	35,153	34,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,911	18,909
利益剰余金	206,654	210,163
自己株式	△56,861	△57,585
株主資本合計	187,585	190,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	102
土地再評価差額金	△5,633	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△15	△14
その他の包括利益累計額合計	△5,646	△5,544
新株予約権	494	437
非支配株主持分	1,546	1,568
純資産合計	183,980	186,830
負債純資産合計	219,133	221,198

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	38,792	34,277
売上原価	15,337	13,311
売上総利益	23,455	20,966
販売費及び一般管理費	5,548	5,064
営業利益	17,907	15,901
営業外収益		
受取利息	2	3
不動産賃貸料	289	312
雑収入	98	187
営業外収益合計	391	503
営業外費用		
支払利息	6	7
不動産賃貸原価	64	75
雑損失	10	8
営業外費用合計	82	90
経常利益	18,216	16,314
特別利益		
固定資産売却益	7	14
その他	—	0
特別利益合計	7	15
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	18	31
その他	—	7
特別損失合計	18	38
税金等調整前四半期純利益	18,205	16,291
法人税等	5,876	5,272
四半期純利益	12,329	11,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,232	10,945



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	12,329	11,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	100
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	2	101
四半期包括利益	12,331	11,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,234	11,046
非支配株主に係る四半期包括利益	96	73

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,205	16,291
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	2,432	2,592
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	991	881
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	51	△47
受取利息及び受取配当金	9	45
支払利息	△12	△67
有形固定資産除売却損益 (△は益)	6	7
オークション勘定の増減額	10	11
売上債権の増減額 (△は増加)	1,551	1,944
仕入債務の増減額 (△は減少)	269	744
未払金の増減額 (△は減少)	△43	△23
預り金の増減額 (△は減少)	△840	△452
預り金の増減額 (△は減少)	△1,001	△528
その他	△47	△273
小計	21,589	21,113
利息及び配当金の受取額	17	70
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額	△7,077	△4,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,522	16,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,442	△4,964
有形固定資産の売却による収入	10	21
無形固定資産の取得による支出	△259	△3,094
関係会社株式の取得による支出	△221	—
その他	△23	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,937	△8,067
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	129
長期借入れによる収入	—	980
長期借入金の返済による支出	△256	△209
預り保証金の預りによる収入	88	69
預り保証金の返還による支出	△139	△76
自己株式の取得による支出	△7,641	△978
自己株式の売却による収入	144	109
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	3,640	—
非支配株主からの払込みによる収入	49	—
配当金の支払額	△6,532	△7,436
非支配株主への配当金の支払額	△68	△51
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30	△61
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,746	△7,525
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	839	1,051
現金及び現金同等物の期首残高	45,452	50,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,291	51,880

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症が、各セグメントにおいて取扱台数、販売数量の減少等に影響を与えております。オートオークション市場においては、サプライチェーンの寸断による生産停滞や緊急事態宣言にともなう外出自粛により新車販売台数が減少したことで、オークション出品台数が減少しております。一方、不特定多数の人と接触する公共交通機関からマイカーにシフトする動きもあり、中古車需要は徐々に回復していくものと見込まれます。

USSグループは新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くものとして、会計上の見積りおよび仮定の設定を検討しておりますが、現時点において重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、今後の状況の変化によっては、将来における連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,773	4,313	36,087	2,705	38,792	—	38,792
セグメント間の内部売上高または振替高	214	0	214	22	237	△237	—
計	31,988	4,313	36,301	2,727	39,029	△237	38,792
セグメント利益	17,524	103	17,628	228	17,857	50	17,907

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,246	3,571	31,818	2,459	34,277	—	34,277
セグメント間の内部売上高または振替高	186	0	186	26	213	△213	—
計	28,432	3,571	32,004	2,486	34,491	△213	34,277
セグメント利益	15,698	98	15,796	54	15,851	50	15,901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額50百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	387	342	△11.6	712
営業利益	179	159	△11.2	326
経常利益	182	163	△10.4	333
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	122	109	△10.5	221

## (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	73	64	△12.9	132
成約手数料	72	63	△12.2	132
落札手数料	109	98	△10.1	203
バイクオークション手数料	3	4	7.2	7
商品売上高	13	8	△39.8	17
その他の営業収入	44	44	△1.4	87
オートオークション計	317	282	△11.1	581
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	25	20	△20.5	46
事故現状車買取販売	17	15	△12.5	32
中古自動車等買取販売計	43	35	△17.2	78
《その他》				
リサイクル事業	24	22	△7.2	48
中古自動車の輸出手続	2	1	△30.3	2
代行サービス	0	0	△1.4	0
その他	0	0	△1.4	0
その他計	27	24	△9.1	51
合計	387	342	△11.6	712

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

## (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	27	80	198.2	94
完工ベース	30	49	60.8	83
減価償却費	23	25	7.3	53